放課後等デイサービス　自己評価表　　【つどいの郷】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点等 |
| **環境・体制整備** | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 0 | 0 |  |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 0 | 0 |  |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 0 | 0 | 危険のないよう声かけや介助を行い、必要に応じて簡易スロープを使用している。 |
| **業務改善** | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 5 | 0 | 0 | 全員でPDCAサイクルを行っている。 |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 5 | 0 | 0 | 保護者アンケートを行い業務改善につなげている。 |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の広報やホームページ等で公開しているか | 5 | 0 | 0 | 公表している。 |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0 | 5 | 0 | 今後実施予定。 |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 0 | 0 | 他県の先進施設に見学に行くなど、職員全員が研修に参加している。 |
| **適切な支援の提供** | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | 0 | 0 | 職員全員で話し合い立案している。 |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | 5 | 0 | 0 |  |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | 0 | 0 |  |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 5 | 0 | 0 | 毎回担当を変え、固定しないよう意識をして行っている。 |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 5 | 0 | 0 | 利用者の特性に合わせて課題を設定し支援を行っている。 |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 5 | 0 | 0 |  |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 5 | 0 | 0 |  |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | 5 | 0 | 0 | ミーティングで振り返りを行っている。参加できなかった職員用に連絡ノートを活用している。 |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | 0 | 0 | 正しい記録を取り、支援の検証、改善につなげている。 |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | 0 | 0 | 定期的なモニタリングを行い、支援の検討や改善の必要性を判断している。 |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか　　　　 | 5 | 0 | 0 | 総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている。 |
| **関係機関や保護者との連携** | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか　　　　　 | 5 | 0 | 0 |  |
|  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 5 | 0 | 0 | 連絡調整を適切に行っている。 |
|  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 5 | 0 | 0 | 現在、対象者はいないが、保護者との連絡を密にし、緊急時には救急搬送等の対応についてマニュアル化している。てんかん発作が発生した際に嘱託医へ連絡し、通院同行している。 |
|  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 0 | 5 | 0 | 相談員を通して、情報共有と総合理解に努めている。 |
|  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 5 | 0 | 0 | 要望があればいつでも提供できる。同一施設内では日常的に情報共有している。 |
|  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 0 | 5 | 0 | 今後、機会があったら研修等に参加する。 |
|  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 5 | 0 | 新型コロナ感染症の影響により交流の機会はなかった。どのようなことができるか考えていきたい。 |
|  | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 0 | 5 | 0 | 地域自立支援協議会に出席する機会がなかった。 |
|  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | 0 | 0 | 子どもの状況や課題を理解し、保護者とのコミュニケーションを積極的に図るよう努める。 |
|  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか | 0 | 5 | 0 | ペアレントトレーニング等の支援が行えるよう研修に参加していきたい。 |
| **保護者への説明責任等** |  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 5 | 0 | 0 |  |
|  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | 2 | 0 | 保護者の話を傾聴し、必要な助言ができるよう努力していく。 |
|  | 保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 5 | 0 | 新型コロナウイルス感染症の影響で保護者参加の活動が行えなかった。 |
|  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 5 | 0 | 0 | 苦情解決窓口があり対応マニュアルが整備されている。 |
|  | 定期的に広報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 5 | 0 | 0 | 定期的な通信発行と毎月の活動写真の掲示をしている。 |
|  | 個人情報に十分注意しているか | 5 | 0 | 0 | 記録等個人情報は、施錠できる書庫に保管している。 |
|  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 5 | 0 | 0 |  |
|  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 5 | 0 | 0 | 新型コロナウイルス感染症の影響により行事は自粛したが、地域の方と一緒に野菜を植栽し収穫している。 |
| **日常時等の対応** |  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 5 | 0 | 0 | 保護者に文書等で周知している。職員は研修を受け、訓練を行っている。 |
|  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | 0 | 0 | 事業所全体で定期的に行っている。 |
|  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 5 | 0 | 0 | セルフチェックやアンケートを行い虐待防止について委員会、職員会議を開き意識を高めている。職員全員が研修に参加している。 |
|  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 0 | 5 | 0 | 身体拘束は行っていない。必要な際は丁寧に説明し、同意書にサインをいただく。 |
|  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 0 | 5 | 0 | 現在、対象者がいない。管理栄養士や看護師と連携し、必要に応じて医師の指示を仰いでいく。 |
|  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | 0 | 0 | 事故防止委員会、職員会議等で検証を行い、対応について協議情報共有している。 |